

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
乳児保育Ⅱ Baby Child Care Ⅱ		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(保育士養成課程必修)	こどもフィールドのみ
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
乳児保育Ⅰ、保育士資格取得に必要な科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
保育士資格取得に必要な科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
高橋登美子	講義棟3階	授業中に指示します		授業中に指示します
授業の概要				
3歳未満児の発達・保育についての学びを深め、健やかな成長を支えるための生活と遊びの具体化と、保育者としての援助を学ぶ。乳児と過ごす豊かな時間の必要性に気づく。				
授業の目標				
①乳児保育の理念と歴史的変遷及び役割等について知ることができるようにする。 ②乳児の発達を踏まえた健やかな遊びについて考え、乳児に対する適切な対応と配慮ができるようにする。 ③養護と教育の内容を適切に捉えた乳児保育の指導計画を立てることができるようにする。				
授業の方法				
乳児の沐浴人形とたくさん触れ合う。 知識として必要な内容は講義とし、学びを深めるための映像資料も観る。 保育技術を身につけるための活動は、グループ演習を取り入れて学生の主体性を大切にする。				
学習の成果(学習成果)				
「乳児保育」の意味を適切に捉え、「乳児保育」の必要性を認識することで、「乳児保育」の具体的指導と環境を考え、健やかな成長と発達に適した乳児のかかわりと保育ができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス(シラバスの説明、授業の進め方、沐浴人形の扱い方、演習内容の準備、評価の方法)			
第2回目	「乳児保育」とはなにか～児童福祉法に基づく「乳児保育」について			
第3回目	乳児保育の一日①～「保育園の一日」とデイリープログラム			
第4回目	乳児保育の一日②～「乳児院の一日」とデイリープログラム			
第5回目	乳児保育の一日③～「家庭的保育の一日」とデイリープログラム			
第6回目	沐浴実習体験～赤ちゃんの着替え(レポート提出:提出日は授業にて指示)			

第7回目	乳児の発達の保育内容①～乳児の育ちとおむつ交換
第8回目	乳児の発達の保育内容②～小麦粉粘土体験（レポート提出：提出日は授業にて指示）
第9回目	身体機能の発達と、基本的生活習慣の獲得に向けた保育①～乳児の育ち
第10回目	身体機能の発達と、基本的生活習慣の獲得に向けた保育②～思い出のフレーム作成（製作物の提出：提出日は授業にて指示）
第11回目	乳児保育と保育課程①～1歳児のデイリープログラムを読み解く
第12回目	乳児保育と保育課程②～保育課程の作成
第13回目	乳児保育と保育課程③～指導計画の作成
第14回目	乳児保育と保育課程④～指導計画の作成と評価
第15回目	赤ちゃんとの出会いと育児～健康観察の重要性の確認

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	沐浴人形を丁寧に扱っている。活動の準備が積極的である。机上の整理に努めている。演習活動後の片付けができています。
レポート	30%	第6回目、第8回目、第10回目の課題をそれぞれ10点とする。（第6, 8回目：授業での学びを踏まえて、自分の考えをまとめて記載がされている。第10回目：丁寧に仕上げている。）
調査報告書	20%	乳児保育の指導計画の作成。発達を意識した内容で、養護と教育の具体的指導内容が書いてある。
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	30%	授業で配布されたプリントと授業内課題のプリントの、表紙を付けて冊子としてまとめたものを第15回目に確認する。プリントに空欄が無く、全ての資料が揃っている。
その他		

教科書と参考図書

教科書：乳児の生活と保育（ななみ書房）
---------------------

履修上の留意点・ルール

沐浴人形の取り扱いには十分な配慮をする。小麦粉粘土、保育教材製作時の材料は各自が用意する。使用教室の衛生と整備に心がける。演習活動に必要な準備と活動は、積極的に取り組む。
---